

令和7年度 朝日小学校

全国学力・学習状況調査の本校の結果について

本年度の4月に6年生対象に実施されました全国学力・学習状況調査の結果について、本校の概要をお知らせします。

なお、本調査により測定できるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面にすぎないことをお断りしておきます。

教科の調査結果

【表の見方】 ◎…5.1%以上、上回る ○…±5%以内

	国語	算数	理科
全国との比較	◎	○	○
福井県との比較	○	○	○

国語に関する分析

良好な点

【書く】

- ・図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書くこと。

【読む】

- ・複数の資料中の言葉や文を取り上げながら、自分が納得したことについて書くこと。

【情報の扱い方】

- ・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。

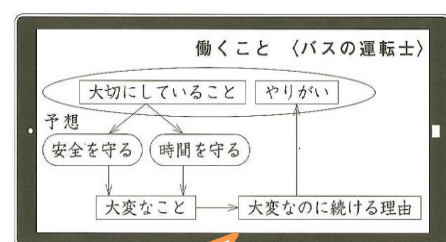
改善を要する点

【読むこと】

- ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を読みとること。

【話す・聞く】

- ・話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。



【話し合いの記録】

考えたことを図表を使って簡潔にまとめる力や、図表や資料の内容を的確に読み取る力が必要です。

【話し合いの様子】

小森さん 質問すること整理するために、話し合ったことを記録するね。私は、運転士さんがどんなことを大切にしているかを聞きたいな。きつと、乗客の安全を大切にしていると思うな。

清川さん ぼくがよく乗るバスはいつも時間どおりに来るよ。時間を守ることも大切にしていると思うな。

町田さん 安全を考えながら時間を守ることが、大変そうだな。

小森さん 確かに、大変そうだね。仕事で大切にしていること、話をしてくれたことをきいて、仕事で大切なことを聞くことができるかもしれないよ。

清川さん バスの運転士は、楽しそうだなと思ってたけど、大変なこともあるんだね。大変なことがあっても仕事を続けている理由も聞きたいな。

町田さん きつと仕事にやりがいがあるからだよ。

清川さん ぼくもそう思うな。大切にしていることとやりがいについては、働くことについて考えるためにもぜひ聞きたいね。

小森さん うん、そうしよう。ここまでの話し合いの記録をこんなふうにまとめたよ。この進め方でいいかな。

「話し合い」の場面では、相手の発言の意図をくみ取ったり、明確な目的をもって発言したりすることが求められます。

算数に関する分析

良好な点

【数と計算】

- 示された資料から、必要な情報を選び、数量の関係を式に表し、計算すること

【図形】

- 基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述すること

改善を要する点

【数と計算】

- 数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えること

次の数直線のア、イの目もりが表す数を分数で書きましょう。



6分の1と答える子が多くいました。

【データの活用】

- 目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する際に、主語を明確にして記述すること。

(2) あいりさんは、自分たちが住んでいる都道府県Aのブロッコリーの出荷量が、増えたかどうかを調べています。調べていると、2013年と2023年について、右のグラフ2とグラフ3を見つけました。



グラフ2とグラフ3を見つけたけれど、どちらか1つのグラフを見れば、都道府県Aのブロッコリーの出荷量が、増えたかどうかわかります。

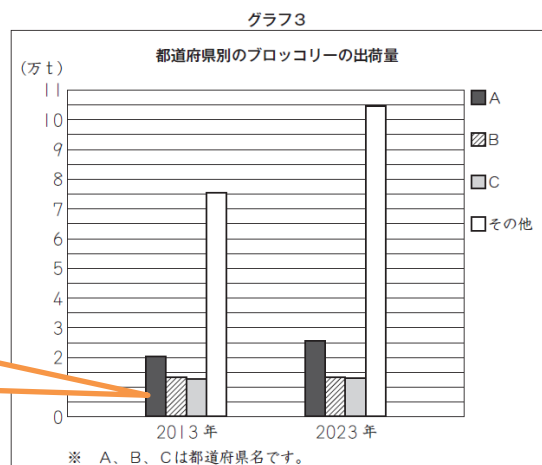
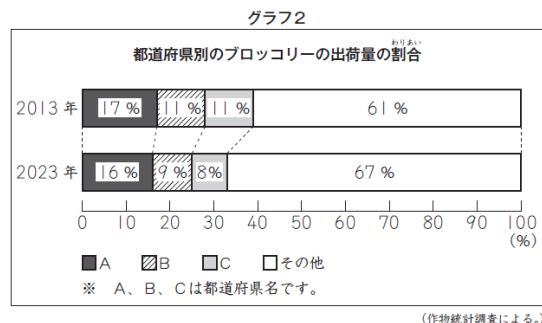
2023年の都道府県Aのブロッコリーの出荷量が、2013年より増えたかどうかを、下のアとイから選んで、その記号を書きましょう。

また、その記号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。そのとき、どちらのグラフのどこに着目したのかがわかるようにしましょう。

ア 2023年は2013年より増えた。

イ 2023年は2013年より減った。

「Aのグラフが」という主語を示す言葉がない子が多くいました。



理科に関する分析

良好な点

【生命】

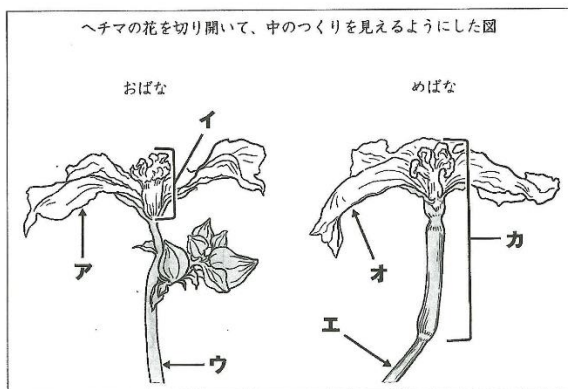
- ヘチマの花のおしべとめしべについて選び、受粉について書くこと

【粒子】

- 水の結露について、温度によって水の状態が変化するという知識と関連付け、適切に説明しているものを選ぶこと

(1) ヘチマのおしべとめしべを下の図の ア から カ の中からそれぞれ1つ選んで、その記号を書きましょう。

また、「花粉がめしべの先につく」ことを表すことばを書きましょう。



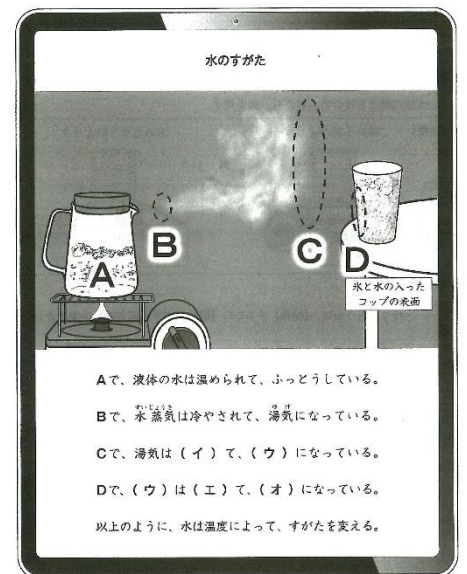
(2) 左の図の (イ) から (オ) の中であてはまるものを、下の 1 から 12 の中からそれぞれ1つ選んで、その番号を書きましょう。

(イ) 1 蒸発し
2 ふっとうし
3 温められ

(ウ) 4 水蒸気
5 液体の水
6 氷

(エ) 7 蒸発し
8 温められ
9 冷やされ

(オ) 10 水蒸気
11 液体の水
12 氷

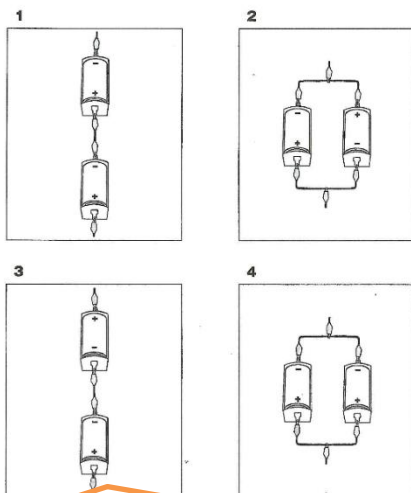


改善を要する点

【エネルギー】

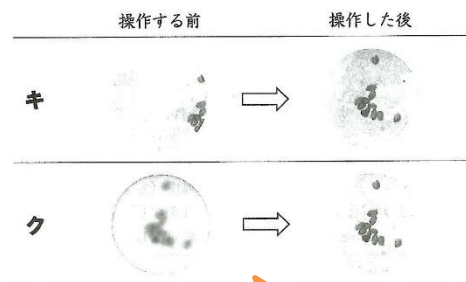
- ベルをたたく装置の電磁石について、電流が作る磁力を強めるため、コイルの巻数の変え方を書くこと。
- 乾電池2個のつなぎ方について、直列につなぎ、電磁石を強くできるものを選ぶこと。
- ヘチマの花粉を顕微鏡で観察するとき、適切な像にするための顕微鏡の操作を選ぶこと。

(4) かん電池2個を直列につなぎ、電磁石の強さを最も強くできるのは、どのようなつなぎ方ですか。下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。



極性に注目できず、3を選択する児童が多くいました。

(2) けんび鏡を操作したとき、キとクのように、操作する前と後で見え方が変化しました。キとクはどのような操作をしたのか、下の 1 から 4 の中からそれぞれ1つ選んで、その番号を書きましょう。



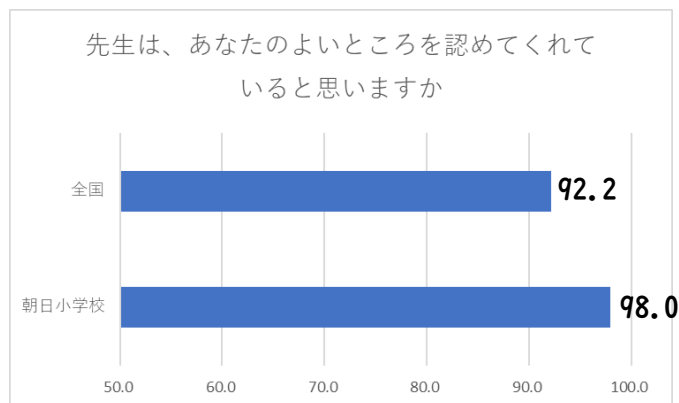
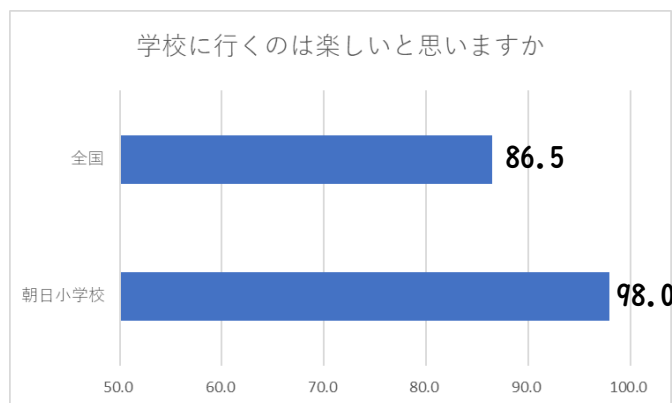
- 1 対物レンズをちがう倍率のもの
- 2 プレパラートを動かした
- 3 明るさを調節した
- 4 調節ねじを回した

キの問題は合っているけど、クの問題を間違えている児童が多くいました。

児童質問に関する結果

良好な点

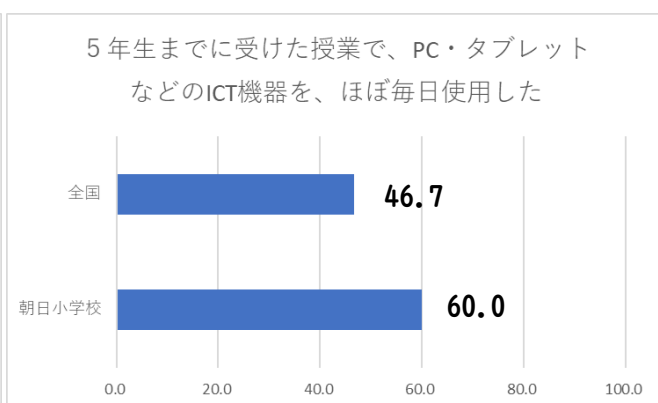
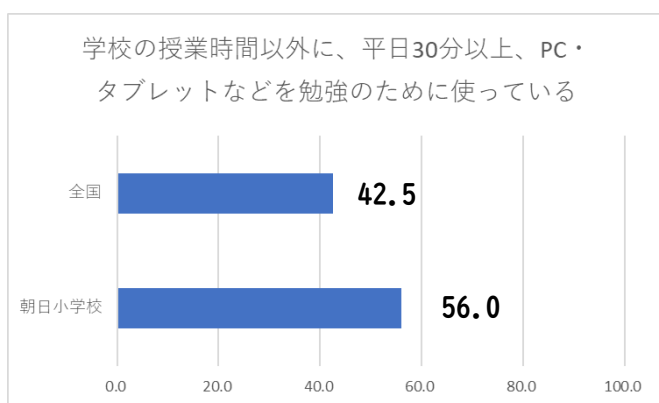
学校との関わりに関すること



※グラフは肯定的回答をした児童の割合を%で表したものです。

○学校に行くのが楽しく、先生が自分を認めてくれると感じる児童がほとんどを占めています。すべての児童ではありませんが、多くの児童にとって、学校が安心して通える場所になっていると考えられます。

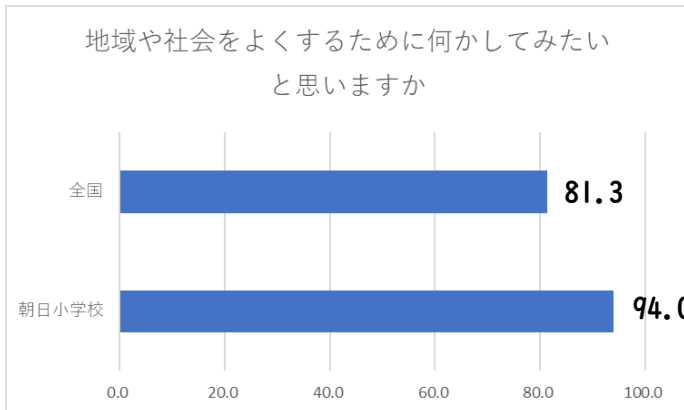
ICT 機器を使った学習に関すること



※グラフは肯定的回答をした児童の割合を%で表したものです。

○昨年度までの学習活動で、ほぼ毎日 ICT 機器を使用している児童が半数を超えています。また、学校の授業時間外でも ICT 機器の活用が見られます。今後も ICT 機器の学習利用が大切であると考えられます。

地域との関わりに関すること



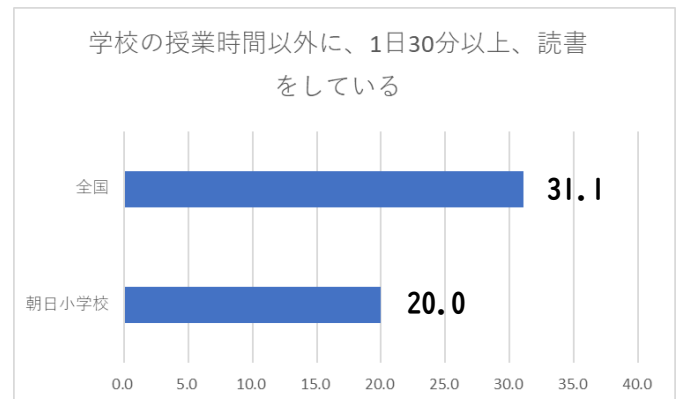
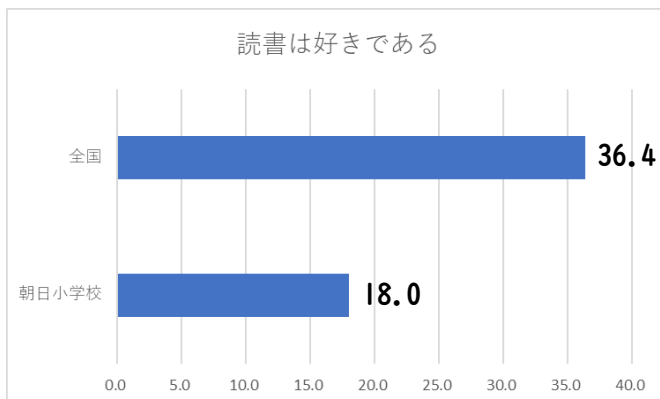
※グラフは肯定的回答をした児童の割合を%で表したものです。

○6年生は昨年に続き、SDG s 学習の一環として越前町の町や海の環境を学び、自分たちにできることを考え実践しています。これらの活動を通して、児童にも地域のために行動したいという気持ちが育まれていると考えられます。

○また、今年度からは全学年で「ふるさと」をテーマに探究学習を行っています。

改善を要する点

読書に関すること



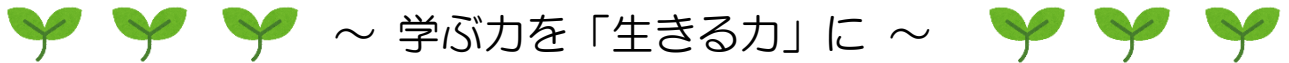
※グラフは肯定的回答をした児童の割合を%で表したものです。

○読書に対する意欲が低い傾向があります。また、上記結果以外でも、5人に1人の児童が、自宅にある本が10冊以下であると回答しています。児童の読書環境を改善し、本を読みたいという意識を高めていかなければならないと考えられます。

改善に向けて

全国学力・学習状況調査の結果をもとに教科毎に分析を行いました。今後の授業改善に向け、アイデアを出し合い、今後の取り組みを決めました。

- 目的や意図に応じて言葉を吟味しながら話し合う活動を取り入れたり、多くの情報から必要な情報を読み取って自分の考えたことをまとめたりする活動を取り入れます。
- より論理的に説明する力を育むために、「不十分な表現」を取り上げ、吟味し、より洗練された表現に高めていく活動を取り入れます。
- 対象や目的に応じて実験・観察器具を適切に操作する技能を身に着けるために、ただ実験を行うだけでなく、実験器具の構造や仕組みを理解するための活動を取り入れます。
- 魅力的な国語の授業を展開する中で読書の機会を設け、児童同士が交流したり、新たに作成する読書カードを活用したりすることで、読書活動が充実するよう取り組みます。



社会が変化を続けても、自ら課題を見付け、仲間と学び合い、ふるさとや世界に目を向け、たくましく、人生を、そして未来を切り拓いていく。

そんな児童の育成を目指して、朝日小学校の教育活動の充実と改善を図っていきます。

保護者の皆様には、家庭での生活習慣の確立にご協力をお願いします。基本的な生活習慣を確立することで、学習に対する意欲の向上、学力の定着につながります。睡眠時間、家庭学習時間、読書時間、ゲームやSNSの使用時間、地域の行事への参加など、ご家庭での時間の使い方について、適切なアドバイスやご支援をお願いします。